

エア式 AR 型搭載バルブの
アクチュエータ取外し/取付け要領

整理番号

UA-A08J-1



ーご使用前に必ずお読みくださいー

本要領書は、エア式 AR 型アクチュエータ搭載のバルブからアクチュエータを取り外す、または取り付ける作業を安全に行っていただくための要領と事柄について記載しています。
なお、お読みになられた後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る場所に必ず保管してください。

<警告・注意表示マーク>



取扱いを誤った場合、「傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される内容」です。



製品の取扱いにおいて、「行ってはいけない内容」で禁止します。



製品の取扱いにおいて、「必ず行っていただく内容」で強制します。

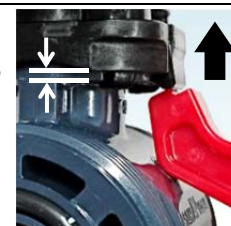
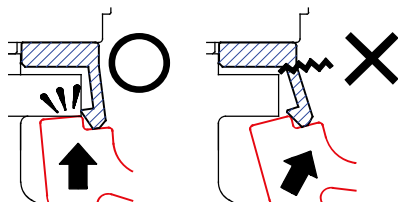
適用バルブ

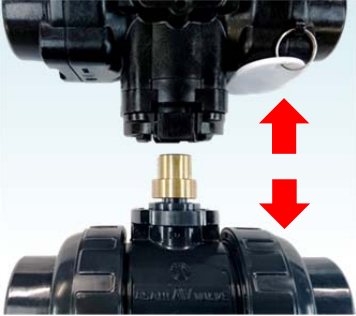
- ・ボールバルブ 21 型・21 α 型 (15～50mm)
- ・三方ボールバルブ 23 型 (15～50mm)
- ・コンパクトボールバルブ 27 型 (13～50mm)



- ・アクチュエータを取り外すときは、必ず専用の「ベースプレート取外し治具」を使用してください。
- ・バルブが配管されている状態で作業をするときは、配管内の圧力をゼロにしてください。
- ・バルブが配管されている状態で作業をするときは、治具を使用する一定のスペースを確保してください。
- ・操作エアの元バルブを閉めて、アクチュエータ内のエアを排気してください。

●取外し

番号	手順	注意事項
①	治具の先端がバルブのサイズにより 2 種類に分かれます。 バルブのサイズを確認の上、該当する方を使用してください。 	治具先端の刻印を確認してください。 
②	治具の先端部を、ベースプレート爪部にセットします。 	ベースプレート爪部の中心に治具の先端をセットしてください。 
③	ベースプレート取外し治具をベースプレート爪部の下から押し上げるように動かし、左右両側ともにバルブ本体との掛りを外します。 	 ベースプレート取外し治具に過度の力を加えて、ベースプレート爪部を無理に広げないでください。  爪部が折れる可能性があります。 

④	掛りが外れたら、速やかにアクチュエータとバルブを切り離します。 	注意 ・逆作動と正作動、及び一部の復動に、バルブとアクチュエータを連結する金属製継手(シャフトアダプター)が入っています。バルブからアクチュエータを取り外すときは、シャフトアダプターの飛び出しに注意してください。 ・ベースプレートの着脱を繰り返さないでください。(爪部が疲労破壊する恐れがあります) 
---	--	---

●取付け

番号	手順	注意事項
①	バルブ正面(アサヒ AV マーク側)の向きにアクチュエータの正面(エア供給側)を合わせてください。このとき、ベースプレートの爪部の位置は、バルブの正面と背面の向きにあります。 	注意 ・逆作動と正作動、及び一部の復動にはバルブとアクチュエータを連結する金属製継手(シャフトアダプター)が入ります。シャフトアダプターの付け忘れに注意してください。 
②	ベースプレートの形状とバルブのトップフランジの形状を合わせながらアクチュエータをバルブに向かって垂直に下ろします。 	ベースプレートのガイド部分がまっすぐ入るように嵌合してください。  
③	ベースプレート爪部がバルブのトップフランジをつかむまで押し込んでください。一方の手でバルブ底部を支えながら、もう一方の手でアクチュエータを押し込むと取付けやすくなります。 	注意 ・バルブが配管されている状態で作業するときは、過度の負荷を加えて配管がたわむ、または破損しないように注意してください。 ・バルブ底部にサポートを置く、または手で支えながら取付けを行ってください。
④	正しく取り付けられているか確認してください。バルブ、または配管を横から見て、アクチュエータの正面、背面のベースプレート(爪部)が垂直になっていることを確認してください。 	注意 ・正しく取り付けられていない場合は、ベースプレート(爪部)が斜めに広がった状態になります。 